

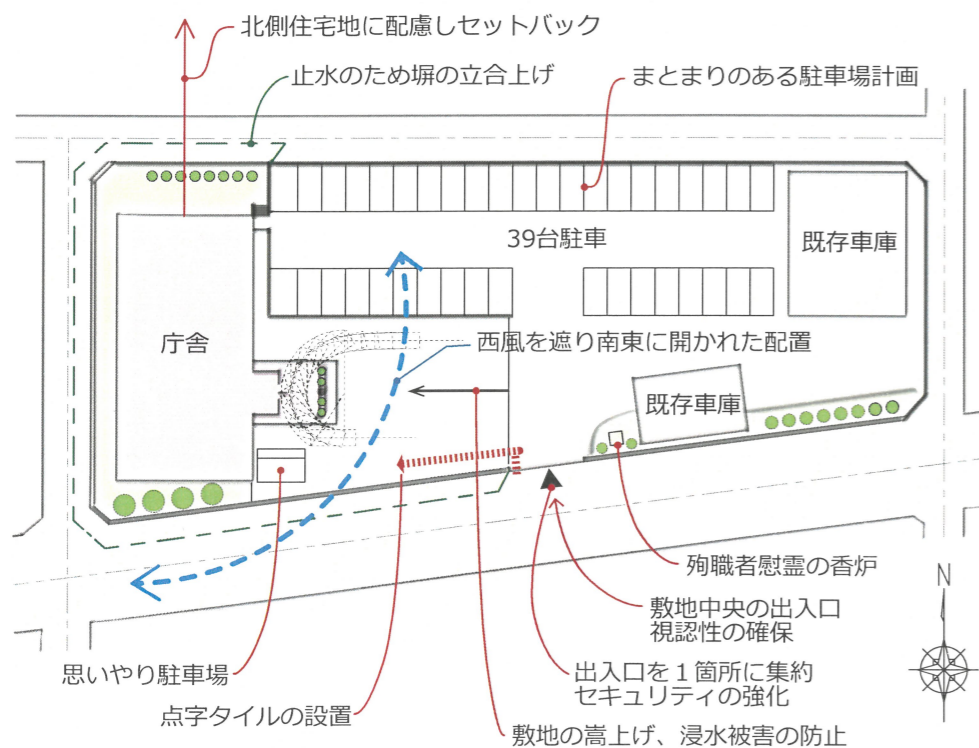
受付番号
※ 6

「地域に開かれた警察庁舎」

ーセキュリティを守りながら地域のための開かれた庁舎ー

(1) 県民の利便性に配慮し、必要なセキュリティが確保された庁舎の提案

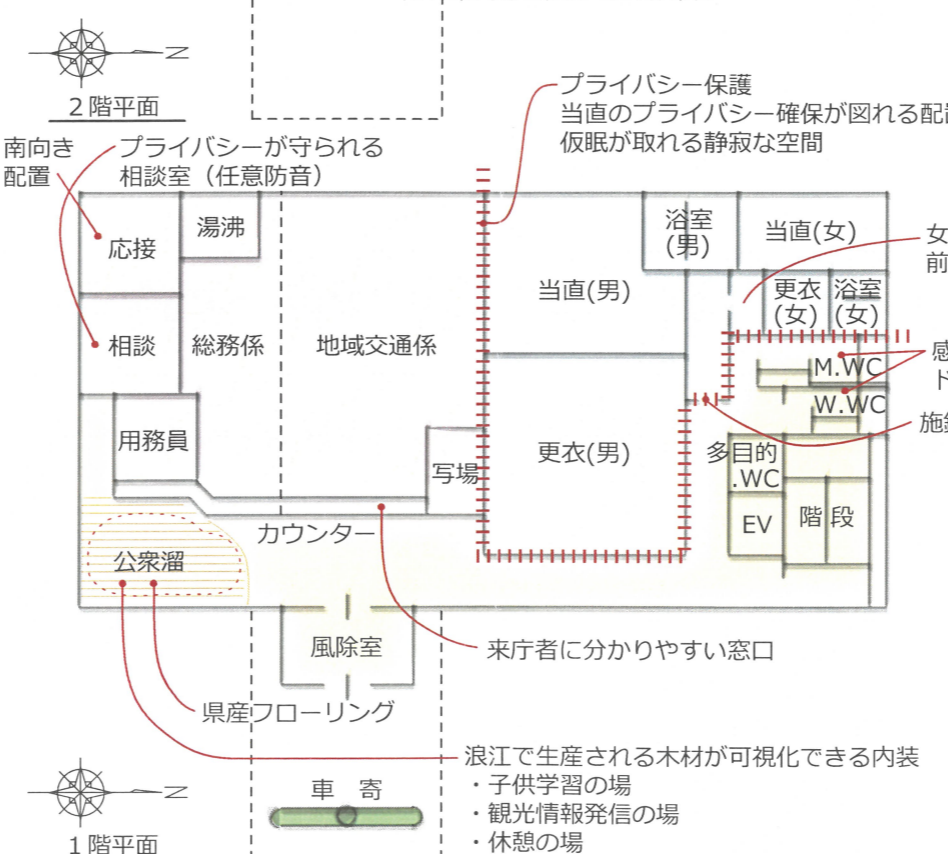
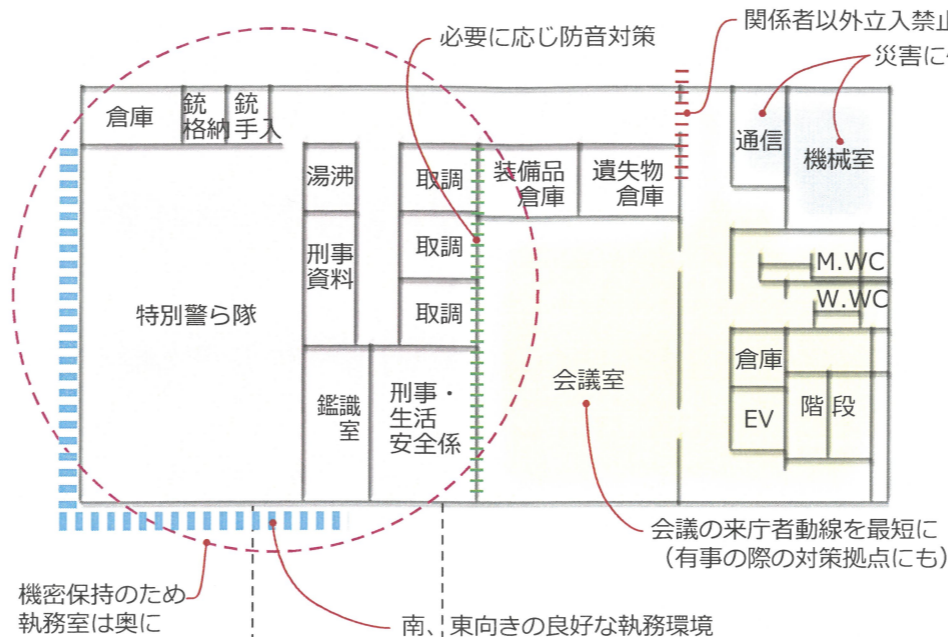
1. 風除室から庁舎内に入ると正面に受付カウンターがあり、来庁者に分かりやすい窓口とします。また、誰でもが利用しやすいように点字表示や外国語表示、音声ガイド等の採用も検討いたします。
2. 1階の相談コーナーは、プライバシーが守れるように1階執務室南西奥に設け、防音対策をします。また、来庁者の多い1階の執務室も個人情報の保護等に必要な間仕切りは、打ち合わせにより設置いたします。
3. 2階の刑事生活安全係、交通警ら隊は、捜査情報などの漏洩が無いように、関係者以外立ち入りできない位置に設け施錠方法等打ち合わせにより決定いたします。
4. 当直者も安心して仮眠や更衣、入浴ができるようにプライバシーの保護が図れる室配置とし、施錠できるようにします。



(2) 県民の安全・安心の拠点となる庁舎の提案

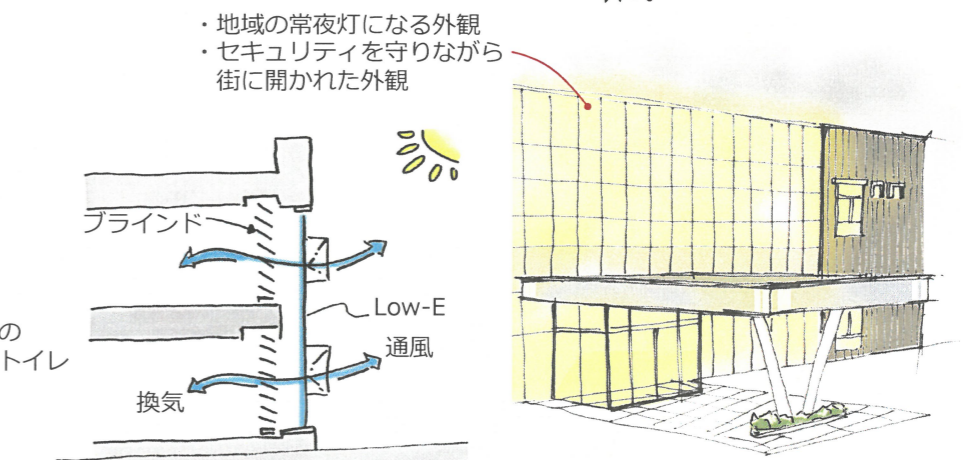
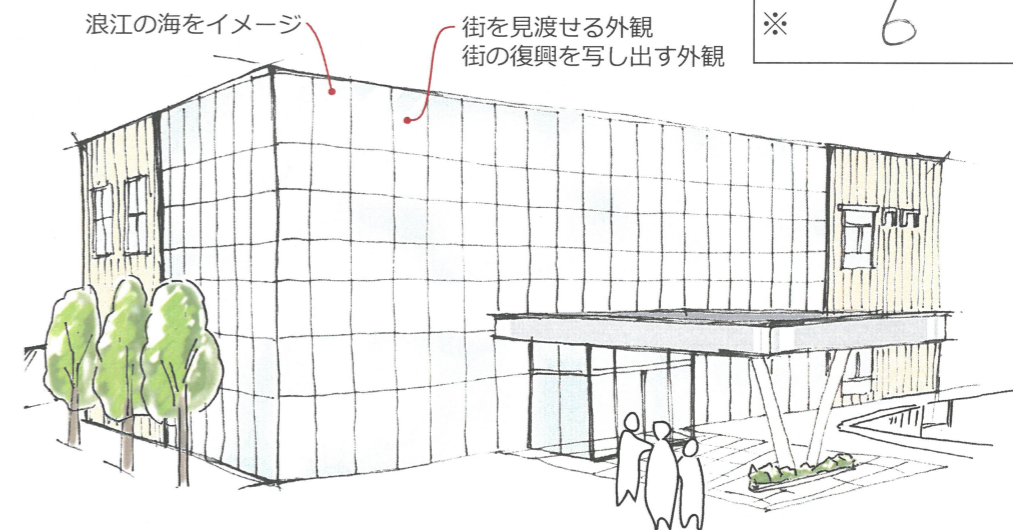
1. 執務室はセキュリティが確保できていることから、通常執務を行いながらも、有事の際は、会議室を対策拠点や避難者の一次避難所として利用できます。
2. 落雷対策として、近くに高層建物が無いため、避雷針設備の設置を検討します。また、停電時の対応として72時間対応の発電機を導入し2階に設置し浸水被害に備えます。
3. 求められる耐震性を確保し、イニシャルコストのメリットが有る鉄骨ラーメン構造を採用し、非構造部材の耐震性能も確保します。
4. 浸水被害に備え新築建物周囲の敷地の嵩上げを行います。
5. 執務室の外皮をガラスのカーテンウォールとすることにより、執務室の明かりが街の常夜灯になり、地域に安心感を生みます。
6. 殉職者慰霊の香炉を残し再整備し、警察の任務に対する崇高な使命感を職員のみならず、一般市民にも広く理解していただけるよう努めます。

殉職者慰霊の香炉(既存香炉)



(3) 人にやさしく環境に配慮した庁舎の提案

1. (1)1に記載したほか、庁舎敷地出入口からの点字タイル設置、思いやり駐車場の設置、庁舎内の手摺設置、車いす用カウンターの設置、エレベーターの設置を行います。
2. 公衆溜りは、警察業務の案内や地域の観光情報などの情報提供を行い、子供たちの職業学習の場や、観光客の道案内、休憩場所として、親しみが持てるような空間づくりを検討します。
3. 積極的な木材利用を図り内装の木質化に努め、県産木材やその加工品を利用し、県の林業や木材産業に寄与し、また、二酸化炭素の固定化を目指します。
4. 地元で造られる集成材をアルミのカーテンウォールの内部のマリオンに採用を検討いたします。
5. 24時間稼働する庁舎のため、建築物の高断熱と高气密化により、季節によって日射取得と遮蔽をコントロールし、自然換気により日中のアクティブエネルギー消費の低減を図りランニングコストの削減を行います。
6. Z e b R e a d yを目指します。また、創エネの検討も致します。



(4) 社会環境の変化に柔軟に対応できる庁舎の提案

1. 今後の改修や、間取り変更が容易なように耐震壁を必要としない、鉄骨ラーメン構造とします。
2. 1階床下配管は、ピット内配管とし、天井裏も余裕を持った高さを確保し、点検口により容易にメンテナンスできるようにします。
3. 2階の機械室は機器の出し入れのための大型扉を設置します。
4. 執務室の床はフリーアクセスフロアーとし室内のレイアウト替えに柔軟に対応できるようにします。
5. 地元でメンテナンスでき、長く使えるように特殊な材料、工法は使わず、地元の材料や実績のある材料、施工方法を採用します。
6. 働き方改革の観点から、当直室の環境整備について打合せを行い仕様決定いたします。

